

(様式 4 : 全対象事業共通)

令和5年度第1回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	見附駅前広場地中熱利用設備整備事業	
補助事業者名	新潟県 見附市	
補助事業の概要	1. 地中熱融雪システム（ヒートパイプシステム）の導入 本市が進める見附駅周辺整備事業に伴い、見附駅東口広場の改修に合わせて、歩行者通路部においてヒートパイプシステムを導入した。 2. 地中熱融雪システム導入に関する周知 市民への理解促進に繋げるための取り組みとして、町内回覧や市ホームページを通じ、地中熱融雪システム（ヒートパイプシステム）の概要と多くの整備効果が見込まれる持続可能性の高いシステムであることを周知・啓発した。	
総事業費	40,107,100円	
補助金充当額	40,107,100円	
定量的目標	① エネルギー削減量 73 GJ 今回の導入システムのエネルギー消費量＝0 GJ 比較対象システム（灯油ボイラー）エネルギー消費量＝73 GJ ② CO2 削減量 4.9 t-CO2 導入システムのCO2排出量＝0 t-CO2 比較対象システム（灯油ボイラー）CO2排出量＝4.9 t-CO2 ③ エネルギーに対する市民の認知度・関心度 2%向上 ④ 従前融雪方式（消雪パイプ）と整備後の融雪方式（ヒートパイプシステム）の比較満足度 60%以上 ⑤ 駅前バス停留所の1週間あたりの乗降者数 100人増加	
補助事業の成果及び評価 （事業毎にあらかじめ設定した事業目標を達成したかなど）	① 達成 ② 達成 ③ 従前値 47.0% ⇒ 48.1% (1.1%向上) ④ 66.7% ※③、④については、R6.1/19～2/29 まで見附駅前広場においてQRコードを掲示し「地中熱融雪システム（ヒートパイプ）に関するアンケート」を実施した結果より ⑤ 408人増加（※R6.2.4～2.10の1週間あたりの乗降者数。従前値を計測した10月時点よりも2月はバス利用者が増加する傾向あり）	
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約	契約の目的	地中熱融雪システム（ヒートパイプシステム）の整備工事を外注するため。
	契約の方法	指名競争入札
	契約の相手方	エムケイ開発株式会社
	契約金額	40,107,100円

来年度以降の事業見通し	市が進める見附駅周辺整備事業に伴い、見附駅東口広場の改修と合わせ、見附駅東口広場における歩行者通路（約 52m ² ）においてヒートパイプシステムを導入する。なお、高熱伝導コンクリートを用いることで、ヒートパイプの整備本数を減らし、整備費の低減を図る予定。
-------------	---